



第7回ユニセフのつどい開催 8年目がスタート

世界の子どもたちのために

Wish

ユニセフ兵庫ニュース

Vol.27 (2009年6月号)

学習会 1月17日(土) コープこうべ生活文化センター 「人身売買の現状と子どもたち」を開催

元(財)日本ユニセフ協会広報室長の森田明彦さんを囲んで

たそのうちの半数は密入国、ないしは人身売買の被害者であるとの事実をまず教えられた。人身売買の殆どは騙す、脅す等不法な手段を用いて行われ、外国人研修制度を名目とした労働者の中にも人身売買が行われていることを話された。

一方、このような不法な状態から子どもたちを救うという課題は、子どもの権利条約の4本柱の2つ、子どもの「保護」と「参加」の強化なくしては防げないと考え、ユニセフは1996年第1回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議(ストックホルム)を立ち上げ、2001年第2回(横浜)2008年(リオデジャネイロ)と会議を開催し、参加各国に自覚と国内法による規制をうながしてきた。

日本は1996年の時点では子どもポルノの80%を世界にバラまいている国として糾弾を受けた。1999年児童買春禁止法の制定によりポルノの売買は禁止されたが、自己鑑賞所持に付いてはえん罪につながる危険性ありとして禁止されないままネット上に氾濫し、昨年は過去最多で被害者数は351人にのぼっている

との新聞報道があった。このような状態を変えるのが直面する課題なのである。

質疑応答と意見交換

講演のあと、お互いに顔を合わせた懇談会で質問と感想を出す交流をしたことにより少し実践への方向が見えてきた気がした。多くの人に抵抗感のある性教育という視点ではなく、生の教育として、人と人はどうつながりあっていけばよいのか、自分なら嫌と思うことを人にもしてはいけないという例を考えさせながら、あくまで子どもの目線でのアプローチの工夫や、もっと社会の関心を惹くためのメディア対策など政治家も目を向けざるをえなくする工夫の必要性を教えて頂けた。

しかし、まず今、なにより自分たちがすべきことは、被害者の気持ちを理解しようと努めることからではないか...と反省しチームで話し合いをしていこうと思う。

(県支部ボランティア 戸崎文子)



森田明彦さん 外務省、国連開発計画、(株)イトーヨーカ堂、(財)日本ユニセフ協会、長崎ウエスレヤン大学を経て、東京工業大学特任教授(国際人権論)。08年9月から国際NGO Save the Children Japan。

昨年夏、映画「闇の子供たち」が公開され日本では殆ど知られなかった子どもの商業的性的搾取の実態は、観客に驚愕を与えた。とは言え、日本ユニセフ協会が取り組んでいる「児童買春、児童ポルノなど禁止法」の改正に向けての「なくそう!子どもポルノ!」の署名活動に対しては身を引いてしまうという反応もかなりあり、運動する私たちにもなかなか自信を持って進められていなかった。そんな中、第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議(2001年横浜)を運営された元日本ユニセフ協会広報室長の森田明彦さんをお招きしてお話を伺うことが出来た事は幸いであった。

これまでの取り組み(現状と課題)

世界67億人口の約3%の人々が毎年国境を越えて移動しているが、その1~2割は非合法移民であり、ま



「にしのみやふるさとウォーク2008」 1月31日(土)

西宮市ESD(持続可能な開発のための教育)推進協議会が主催の「にしのみやふるさとウォーク」では「西宮の文化や歴史、環境、福祉、平和と国際協力、防災、産業、食などについて学ぶ」ことを目的に、それぞれのテーマについてのクイズに挑戦しながら「ウォークラリー」が行われました。ユニセフの子ども用クイズはネパールの子どもたちが生活用水を運ぶための「水がめ」についてでしたが、水がめ自体を知らない子どもも多くユニークな迷答に苦笑い...、今後も、さまざまな機会を捉えて世界の子どもの様子を知らせていく必要を感じました。(451人参加)



ユニセフチェックポイントでクイズに挑戦する子どもたち。

≧ スタッフからの一言 ≦

ユニセフが最初のチェックポイントになるため、参加者が一度に大勢押し寄せ混雑するのではと多少不安を感じましたが、わがユニセフスタッフ6名の獅子奮迅(?)の対応により事なきを得、無事に終了してほっとしました。今回のテーマのひとつである「国際理解」について、多くのファミリーの皆さんとふれ合うことができ、嬉しく思っています。

(県支部ボランティア 上村順次)



神戸スカイブリッジを力強く歩く参加者。橋の上を吹きぬける冷たい風に帽子をとばされそうになる一幕も...

「神戸ラブラン チャリティ・ウォーク」 2月8日(日)

今年もミナト神戸を舞台に開催された「ユニセフカップ 神戸バレンタイン・ラブラン」。これは、聖バレンタイン・デーにちなんだ、日本でただひとつの「愛の大会」としても広く親しまれています。21回目になる今回は、昨年より2500人多い17493人の参加で、「戦争、災害、貧困に苦しむ子どもたちに愛の手を!」をテーマに、ポートアイランド特設会場で行われました。また、昨年に続き「神戸ラブラン チャリティ・ウォーク」も同時開催されました。

ました。市民広場では、ステージイベントを楽しみながら、用意された豚汁やぜんざいに舌つづみを打ち、歩き抜いた満足感と共にあったかい満腹感も味わいました。



当日はゴールされた参加者全員からお一人100円のユニセフ募金をいただいたほか、ユニセフ製品の頒布にも温かいご協力を得る事ができました。この2つの催しは、サンケイスポーツ・サンケイ新聞社の主催(日本ハム・コープこうべ協賛)で開催されました。



ユニセフのつどいを終えて

県支部ボランティア 石本 慎子

恒例の「ユニセフのつどい」に向けて、昨年10月に実行委員会を立ち上げ、月に1回開催しているアイデアを出し合って日程、ゲスト、内容を決めていきました。世界の子どものこと、平和のこと、私たちが失いたくないもの、そしてユニセフのことなど、いっしょに考え楽しい時間を過ごすことができました。

いよいよ当日。本番です。仲間に助けをもらいながら、終始いちばん気配りをしたのが時間調整でした。オープニングのユニーズの皆さんによる詩の朗読、菊川穰さんの現地活動の難しさや苦労話、地域のみなさんによる活動報告、山崎美緒さんのユニークな自転車による旅のお話と、プログラムが進んでいきます。

何とか予定通り進み、最後の西アフリカのダンスではバンバラ族のウオロソソンのリズムと民族楽器アシコ(太鼓)に合わせて場内総出で踊り、最初は恥ずかしそうにしていた人たちも立ち上がり、皆の心がひとつになって大いに盛り上がりました。その時の、晴れ晴れとした皆さんの素敵な笑顔が印象的でした。

何と言っても楽しかったのは、事前ワークショップでの西アフリカダンスの練習でした。流れる汗を拭き、水を飲んでまた踊る。しばらくは足、腰が痛くて大変でした。

時間通りに終え、皆さんが最後まで参加してくださったこと、安堵と充足感で「ほっ」としました。参加いただいたすべての皆さん、ありがとうございました。



事前ワークショップ:パブロさんたちのご指導で思った以上の運動量と太鼓の響きが全身に広がってつどいに向けて盛り上がりました



オープニング

報告

展示

募金贈呈

昼食・交流

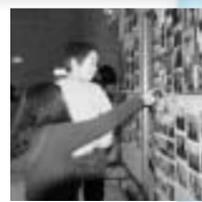
講演

クイズ

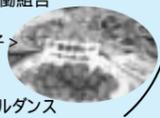
ダンス

ダンス

オープニング
イスラエルの少女の詩をユニーズメンバーが紹介
展示(敬称略)
・イケア、伊藤ハム(株)、コープこうべなどの企業活動紹介
・神戸市立科学技術高校の平和博物館
・ガザ写真(地球のステージ提供)
・スーダン・ルワンダの写真
(フリージャーナリスト大津司郎さん提供)
・セネガル文化の紹介



募金贈呈(敬称略)
・伊藤ハム(株)・神戸市職員労働組合
・兵庫県いなみ野学園・コープこうべ
・コープこうべ定時職員協議会、コープこうべ労働組合
昼食・交流
ボランティアスタッフ手づくりの「世界のお菓子」
ユニーズによるクイズ
セネガルダンサー
パブロ・アムドゥ・ギセさんによる西アフリカ・セネガルダンス



「途上国現場におけるユニセフ活動」

(財)日本ユニセフ協会 菊川穰さん

「アフリカ、中東、アジアを走る」 ～自転車の旅で出会った人々～

日本アフリカユースネットワーク代表
山崎美緒さん



兵庫県支部で山崎さんのお話を聴くのは今回が2度目。前はアフリカ8カ国5000キロ縦断後もなくの講演でしたが、自転車の旅での活動も、キューバ、中東、エリトリア、2009年はベトナムと、どんどん広がっています。エリトリアは菊川さんの報告にも登場した国ですが、誇り高く礼儀を重んじ心あたりの民族性、自転車大国である事、など山崎さんの講演でさらに理解を深める事ができました。セネガルダンサーのお一人も山崎さんの友人で、「世界のともだちと心をつなごう」のテーマにぴったりの山崎さんの活動、そしてメッセージ 感謝する(毎日あさが来て自由にもどこでも行ける事、食べ物・水・安全、etc日本でも当たり前と思ってる事が当たり前ではない) 強い意志を持ち行動する自分の周りにあるものを楽しむ ~ひとりでも多くの人に伝えたいと思います。

同時開催 パネル展「ユニセフと水」



ガザ写真展(地球のステージ)



活動報告



西宮市立苦楽園中学校:生徒会を中心とした「アルミ缶回収」による募金活動の報告。

A- Bridge cup委員会:熱い思いの岡本先生。サッカーを通じ中学生へ伝え続けています。



コープこうべ:「みなさんいっしょに」さっそくネパール視察の成果をご披露。



ワールドラグビー部:かっこいい選手とかわいいマスコット! 早速インタビュー。



西宮ホワイトライオンズクラブ:たくさんの外国コインと古切手をいただきました。



神戸市立科学技術高等学校:平和博物館「列車で世界へ」の展示と報告。

ユニーズ西嶋君からパブロさんと奥様の純子さんへインタビュー!



クーマンとユニーズの家崎君
ユニセフ「O」「X」クイズでは会場狭しと走りまわりました。



参加者の感想
山崎美緒さんのお話に勇気と希望をもらいました(50代女性)
山崎美緒さんの行動力と発想に驚きました。もっとお話を聞きたかった(15歳中学生)
強い思いを持ち、それを現実させた山崎さんの生き方がとてもかっこよかった(15歳中学生)
ユニセフの活動はハード面だけでなくソフト面も必要ということ。支援のジレンマの現実を聞き、考えさせられました(40代女性)
プライドを持ったエリトリア人のお話があったです。寄り添っていく援助を望んでいます。私たちの募金をよりよく使っていただきたいと思います(50代女性)
セネガルダンス、最高でした。心に残り、広く日本中に広がっていくことを望みます(50代女性)
苦楽園中学校の活動紹介をとっても温かく感じました。これからはがんばってください(50代女性)
ユニーズさんのクイズ大会、楽しかったです。楽しみの中でユニセフのミニ知識を知ることができました(15歳中学生)
テーブルでの昼食交流、クッキーやドリンクにホッとしてうれしい気持ちになりました(40代男性)
心温まるお話はたくさん聞くことができますが、今回は裏側のお話も聞くことができました。ちょっと悲しいですが、本当に困っている人に援助が届くことを願っています(50代女性)
来年は孫と一緒に連れてきたいと思いました(60代女性)

ユニーズの呼びかけで
ガザ地区緊急街頭募金
を実施しました

ユニーズ 本田悠里

2月14日(土) 私たちは大丸神戸店前でガザ地区緊急募金を行いました。ガザ地区で苦しむ子どもたちのために、自分たちが出来る



ことをやりたいと思い、街頭に立ちました。当日は多くの方が募金に協力して下さり、私たちと同様、『何か力になりたい』と多くの方が感じていることを知りました。

また、募金を呼びかけることでこのような一般の方々の思いを届ける橋渡しができると感じました。ご協力いただきありがとうございます。

ユニセフカード・グッズ
頒布活動いろいろ

3月14日(土) コープこうべ生活文化センターで、コープ第3地区の第3回「祭inすみよし」があり、サークルの舞台発表や楽しい催しが行われました。今年のテーマは「ちょっと体験しませんか」。コープの組合員がサークルの写真や絵画を見る体験や、活動を一緒にする体験に加え、募金体験コーナーがありました。このコーナーに兵庫県支部も参加させていただき、カード・グッズを頒布しました。



ほかに、3月1日(日) 塚口「サークルフェスティバル」西宮「フ

ファミリーフェスタ」3月8日(日) 宝塚「ふれあいフェスティバル」3月30日(月) 第4地区「コープサークル発表会」などに参加。多くの方とふれあい、支援の輪が広がっていることを実感しました。

第13回理事会・
第7回評議員会を開催
3月16日

兵庫県支部は顧問、理事、監事、評議員で構成されています。理事会・評議員会は毎年この時期に開催、県支部の活動についてみなさんにご審議、ご承認いただいています。今年も交流の時間を利用し、映像を交えた紹介やミニ授業をボランティアの中村弘子さんが行い和やかな雰囲気となりました。



あなたも「ユニセフ学習会」を開催しませんか

2008年度、兵庫県支部・学習スタッフが伺いし実施した学習会は、23会場・のべ38回1778人のみなさんに出会ったことになり



づくりのヒントになります。

現在は、学校からのご依頼が主ですが、10人くらいのグループでも喜んで「出前講座」として伺います。学習内容も、できる限り事前に打ち合わせをし、

毎月開かれる学習チーム会では、「この学習会、どんな組み立てにしたらいいい?」「どうしたら聴いてくれるのかねえ?」「この方がいいんじゃない?」等々。メンバーが顔を突き合わせ、少しでもいい学習時間にしようと、話し合いを重ねます。そして開催後には、どんな様子だったか振り返りながら、次の学習メニュー

学習会訪問一覧(08年10月~09年2月)

訪問日	訪問先	対象	人数
10月9日	西宮市立今津小学校	小学6年	88人
10月17日	兵庫県立大学	大学生	15人
10月21日	尼崎市立立花南小学校	小学6年	114人
10月23日	コープこうべ大庄レインボースクール	大人	15人
11月5日	I K E A 職員	大人	50人
11月22日	I K E A 来客	幼児	150人
11月25日	尼崎市立小園小学校	小学6年	144人
11月27日	福崎町立高岡小学校	小学6年	31人
12月9日	姫路市立八木小学校	小学6年	24人
12月17日	宝塚市立西谷小学校	小学6年	19人
1月22日	三田市立あかしあ台小学校	P T A	20人
1月30日	神戸市立灘小学校	小学6年	53人
2月3日	神戸市立上筒井小学校	小学5年	46人
2月16日	西宮市立用海小学校	小学1~6年	700人
2月19日	市川町立甘地小学校	小学6年	43人

少しでも知ってもらいたい、関心を持ち続けてもらいたい、そんな気持ちでお話をさせていただきます。もしよろしければ、あなたも、学習会を開催してみませんか。お気軽にお問い合わせください。(交通費のみご負担ください)

『ユニセフ・カードと
ギフト春・夏号2009』



今から60年前の1949年、記念すべきユニセフカード第1号が発行されました。ユニセフ・カードとギフトは、定価の約50%が150以上の国と地域におけるユニセフの活動資金となり、多くの子どもたちの未来を支える大きな柱になっています。カード・グッズの購入をご希望の方は、お問い合わせください。
☎078・435・1605

活動レポート

いっしょに、広報紙「Wish」
つくりませんか

みなさんが今お読みいただいている『Wish』の作成がおもな活動です。支部から遠いメンバーが多く、記事取材や作成を通していろんな方々とながれること、世界の子どもの状況を知ったり伝えたりできること、を励みにがんばっています。まだまだ不十分なことも多いですが、チームとしてやっとよちよち歩み始めたところです。よろしくをお願いします。興味ある方、新しい方の参加もお待ちしています。



ボランティア
チーム紹介
広報チーム



今年は、賀川豊彦献身100年、子どもの権利条約国連採択20周年の年です。初心にもどり学習するいい機会、紙面でもご紹介します。

1. 賀川豊彦とユニセフ

賀川豊彦は、子どもの権利を守り教育を促進する活動に努めたことが認められ、1999年12月、国連が採択した「子どもの権利条約」のもと、「子どもの最善の利益を守るリーダー」として、世界の52人の一人に選ばれました。これは『世界子供白書2000』に紹介されています。



協同学苑史料館所蔵資料より

隣人愛、生協の精神を説いた賀川豊彦は平和の使徒でもあり続けた人です。1924年子どもの権利に関するジュネーブ宣言が採択される3カ月前、彼が東京深川猿江裏児童保護講話

会で提唱した「6つの子どもの権利」には、保護だけでなく参加(意見表明)の権利も含まれ、より先駆

的な内容であることに驚かされます。ジュネーブ宣言は、第二次世界大戦後の子どもの権利宣言および国連子どもの権利条約の先駆けとなったものです。ユニセフの活動指針は国連子どもの権利条約であり、その根幹の精神で、賀川豊彦とユニセフは密接

に結びついています。

今年、記念事業が様々なところで展開されています。

募金や会員など、あなたができる方法でご協力ください

緊急募金のお願い

アフガニスタン緊急・復興支援募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「アフガニスタンK1-280兵庫」と記入

地雷教育

C UNICEF/NYHQ2003-0154/Noorani

ガザ人道支援緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「ガザK1-280兵庫」と記入
ガザにあるスレイマン・スルタン小学校で予防接種を受ける男の子。

C UNICEF/NYHQ2009-0127/EI Bab

中国大地震緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「中国大地震 K1-280兵庫」と記入

ミャンマー・サイクロン緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「ミャンマーK1-280兵庫」と記入

スーダン緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「スーダン K1-280兵庫」と記入

アフリカ緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「アフリカ K1-280兵庫」と記入

自然災害緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「自然災害 K1-280兵庫」と記入

人道危機緊急募金

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「人道危機 K1-280兵庫」と記入

【共通】

送金手数料は免除されます。

口座名義：財団法人日本ユニセフ協会
募金はゆうちょ銀行指定の振込用紙をご利用の上、上記口座までお振込みください。ユニセフへの募金は寄付金控除の対象となります。

ユニセフ募金

～ご家庭で学校で職場で～

いただきました募金は、日本ユニセフ協会からユニセフ本部、そしてユニセフ現地事務所を通じて世界の子どものための支援活動に使われます。

郵便振替をお願いします
口座番号：00190-5-31000
加入者名：(財)日本ユニセフ協会
通信欄に「K1-280兵庫」とご記入ください。

会員って

ユニセフ協力活動を行なう日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。
一般会員...個人ならどなたでも
1口 5,000円

学生会員...18歳以上の学生
1口 2,000円

団体会員...団体、法人、企業
1口 100,000円

申込み方法についてはお問い合わせください。

ボランティア募集

世界の幼い子どもたちの命を守る活動や基礎教育を広める活動を、あなたも応援してみませんか? 兵庫県支部では、ユニセフの紹介・啓蒙活動や募金活動などを、交流を楽しみながら進めています。他にチームに分かれての活動もあります。興味のある方はぜひ事務局までお問い合わせください。

【学習チーム】ユニセフについての出前学習会の講師活動

【カードチーム】カードなどのユニセフ製品の頒布活動や管理

【事務チーム】支部事務局をサポートする事務所内での活動

【広報チーム】「Wish」の作成やその他広報ツールの作成

【UNIES】学生など若者が中心の活動

学習会 イベント参加 カード頒布

事務局運営 広報

お申し込み・お問い合わせは兵庫県支部まで
☎078-435-1605 FAX 078-451-9830

学習会「イラクの子どもたちは今」

- とき** 2009年6月6日(土) 10:30~12:00
- ところ** コープこうべ生活文化センター 4階第2会議室
- 報告者** 玉本英子さん(フリージャーナリスト)
- 内容** フセイン政権崩壊から6年目の今年春、3月~4月にイラクを訪れ現地取材活動が行われた玉本さんを迎え、イラクの子どもたちの現状を中心に、見たこと、聴いたこと、感じたことをお話いただきます。あなたもぜひご参加ください。

玉本英子さんプロフィール
アジアプレス所属。中東地域を中心に取材。2004年アフガニスタンのドキュメンタリー映画「ザルミーナ」を監督。

参加無料 ただし、事前にお申し込みください。

子どもの権利条約国連採択20周年

「ユニ・ボラ塾」を開催します

今年で4年目になるユニセフ・ボランティア塾。今年度は、ユニセフの活動のもとになっている「子どもの権利条約」について、基本から学びます。どなたでも参加していただける学習会です。いっしょに学びませんか。

- とき** 2009年6月27日(土) 10:30~12:00
2009年7月18日(土) 10:30~15:00(予定)
 - ところ** コープこうべ生活文化センター 4階第2会議室
コープこうべ生活文化センター 3階第1教室
 - 講師・内容** 西義人さん(コープこうべ顧問)
子どもの最善の利益を守るリーダーとしても実践されていた「賀川豊彦」についての学習です。
浜田進士さん(関西学院大学教員)
国際協力の視点からバングラデシュの子どもたちの現状を知ることを通して、「生きる・育つ・守られる・参加する」権利について、ワークショップ等で学びます。
- 参加無料** ただし、事前にお申し込みください。

開催予告

地球のステージ5

~果てなき地平線~
「国際協力篇」「ルワンダ篇」
「アラブ紛争篇」「ヒロシマ篇」
「命をたどる旅路篇」

- とき** 8月29日(土) 14:00開演 有料です。くわしくはお問い合わせください。
- ところ** コープこうべ生活文化センター2階 ホール
ステージ進行役 桑山紀彦さん(NPO法人地球のステージ代表理事、精神科医)

地球のステージとは...
紛争地や被災地での緊急医療支援と心のケアに携わる桑山さんが、そこで感じた命の重みを映像と音楽で語り伝えるライブステージです。
1996年の初演から全国で1800回以上公演。感動の輪を広げています。



主催: コープこうべ生活文化センター
後援: 日本ユニセフ協会兵庫県支部・兵庫県生活協同組合連合会・(財)神戸市民文化振興財団

- コープ第3地区「平和のつどい」 7月11日(土)(予定) コープこうべ生活文化センター プレラホール(プレラにしのみや5階)
- コープ第2地区「平和と国際協力を考えるつどい」
- 地球のステージ「ありがとうの物語」上映 7月25日(土)10:00開演
- 「夏休みユニセフ親子教室」 8月1日(土) コープこうべ生活文化センター 対象:小学4年生以上

あ・と・が・き

つどい参加3回目にしてやっと念願のダンスの輪に入ることができました。リズム感の有無やダンスの上手下手は別として、会場全体の一体感や充実感は写真担当では味わえない醍醐味でした。(き)

新米です。まだ、飛び交っている会話のほとんどが理解困難です。パソコンとも悪戦苦闘中ですが、新しいことに出会えた楽しさで何とか乗り切りたいと思います。よろしくをお願いします。(い)

日ごろ接する事のない人や機会に出会えた事が一歩前進かと思いつつ1年が過ぎました。この1年もいろんな人、機会と出会い、小さいながらも努力をと思っています。(よ)

セネガルダンスの熱気にあおられ、思わずカメラをにおいてダンスの輪に入りそうになりました。こらえましたが、知らず知らずのうちに足でリズムをとっていたらしく、写真はぶれまくりました。(ま)

多くの方に支えられて8年目の兵庫県支部。ユニセフ活動の基本・子どもの権利条約20周年、そしてその実践者でもある賀川豊彦献身100年の記念すべき年に「地球のステージ2000回記念公演」を今秋11月、神戸で開催できる偶然を幸せに感じています。We『Wish』...平和ですね。(ふ)

たとえ小さな力ひとつでもあなたに伝えることができたら ~最近感動したミュージカルの歌詞です。(く)

世界の子どものために

Wish Vol.27号 (2009年6月号)

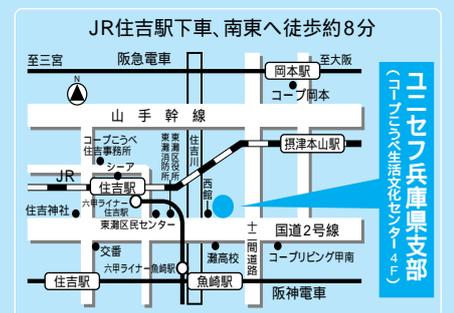
ユニセフ兵庫ニュース
2009年(平成21年)6月発行

発行: 日本ユニセフ協会兵庫県支部
住所: 〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
電話: 078-435-1605
FAX: 078-451-9830
(お問い合わせは平日の10時~16時)

●最新の情報はホームページで
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo>

日本ユニセフ協会兵庫県支部

ユニセフ兵庫支部への案内図



ユニセフ兵庫支部
コープこうべ生活文化センター4F